

池田栄廣は、1901（明治 34）年に呉市広中新開に生まれました。大分県に移住後、運転手として働くかわら日本画を描いていましたが、本格的に絵を学ぶため京都に出て、堂本印象の画塾、東丘社に入門しました。26 歳の頃、犬をモチーフにした作品で帝展に初入選します。それ以降、帝展での入選を重ねたほか、画塾主催の展覧会にも出品。この頃から、犬や猫など身近な生き物をテーマとして描きました。

しかしその後、改組問題で揺れる画壇を背景に、栄廣自身も制作における模索期をむかえ、1941（昭和 16）年に東丘社を退塾。代わって院展で活躍していた日本画家、安田靉彦に師事します。心機一転した栄廣の作品には、人物が登場するようになりました。1942（昭和 17）年に 41 歳で院展に初入選し、以降、90 歳で亡くなるまでほぼ毎年同展に出品し続けました。

栄廣は 1940（昭和 15）年、小学校教諭をしていた琳子と結婚します。琳子は栄廣の日本画制作を手伝いながら、自らも日本画家の小倉遊亀のもとで日本画を学び、温かなまなざしで、仲良く遊ぶ子どもたちの姿を描きました。1964（昭和 39）年から院展に出品し、その後も入選を重ねます。

本展では、池田栄廣が得意とした愛らしい動物をはじめ、働く姿への敬意と美しさを表現した人物画や、琳子が描いた、子どもたちの賑やかな声が聞こえてくるような生き生きとした様子が伝わる作品を展示します。



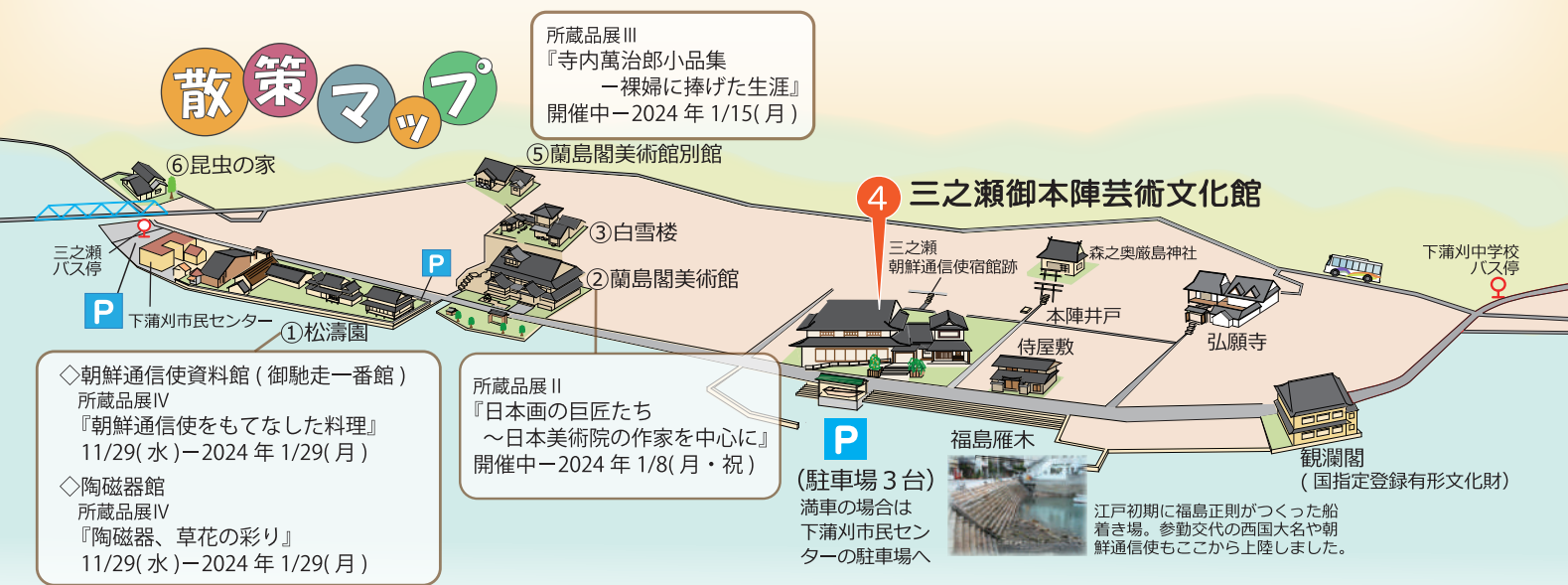
池田栄廣「シャム猫」1991 年 紙本彩色



池田栄廣「手術室」 紙本彩色



池田琳子「仲よし」1981 年 紙本彩色



🚗 広島市内から車で約60分

呉市内より国道 185 号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。

指定施設にて 1,000 円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL:0823-23-7845 まで

🚶 + 🚗 呉市内から電車・バス利用の場合

JR 呉線で広駅を下車。広駅前の道路を渡ったところにある「広駅前」バス停から瀬戸内産交運行の「営農センター・沖友天満宮行き」バスに乗車。「下蒲刈中学校」または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時 1 本運行しています。

〔バスに関するお問い合わせ：瀬戸内産交（株）TEL 0823-70-7051〕

三之瀬御本陣芸術文化館



アクセス方法 バス時刻表



Instagram



Facebook



QR コードからアクセスできます！